

ASD
Project

京都大学大学院医学研究科
「発達症への介入による
国民的健康課題の解決」
サポーターズコース

令和7年度
受講生
募集

本講座では、吃音・読み書き障害（LD）・発達性協調運動障害（DCD）など、
神経発達症のある子どもの理解と支援方法を、やさしく学べます。
子どもとの関わり方のヒントや、病院・相談機関の上手な利用方法など、
“明日から使える実践的な視点”を丁寧にお伝えします。
保護者の方はもちろん、教職員・支援者の方にもおすすめのオンライン講座です。



寺田 奈々
言語聴覚士
ことばの相談室
ことり主宰



草野 祐介
作業療法士
京都大学大学院医学研究科
人間健康科学系専攻 助教



宮崎 圭佑
言語聴覚士
株式会社
宮崎言語療法室代表



山田 晶子
児童精神科医
京都大学大学医学研究科
人間健康科学系専攻 特定助教



岩永 裕人
作業療法士
京都大学大学院医学研究科
人間健康科学系専攻特定助教



お申し込みはこちらから

募集期間：令和7年12月～令和8年1月31日（期間内で随時）
受講形式：e-learning講座（全5講座 各約30分）
受講期間：受講開始のご案内より2ヶ月間
受講料金：20,000円（お振込またはクレジットカード決済）

令和7年度（2025年度）京都大学大学院医学研究科
「発達症への介入による国民的健康課題の解決」 サポートーズコース 科目表

開講時間の 目安(時間)*	時期	授業科目	実施形態	講師氏名
1		吃音	e-Learning	寺田奈々 (言語聴覚士)
1		読み書き障害	e-Learning	宮崎圭佑 (言語聴覚士)
1		DCD	e-Learning	岩永裕人 (作業療法士)
1		子どもとの接点の見つけ方	e-Learning	草野祐介 (作業療法士)
1		病院や支援機関の利用の仕方	e-Learning	山田晶子 (児童精神科医)

※ご自身のペースで期間内にご視聴いただけます

※本コースは履修証明プログラムとは異なります。受講後に受講証明書を発行します。

講座名	講師名	講座内容
吃音	寺田 奈々 言語聴覚士 ことばの相談室ことり主宰	吃音は「ことばの流れ」に困難が生じる状態で、発達段階にある子どもに大きな影響を与えることがあります。この講座では・吃音の特徴・支援の時に知っておきたいポイント・本人への具体的な関わり方などをわかりやすく解説します。
読み書き障害 (LD)	宮崎 圭佑 言語聴覚士 株式会社 宮崎言語療法室代表	読み書き障害が、日本語の文字教育環境において、どのような特徴として現れるのかを学びます。この講座では・吃音の特徴・支援の時に知っておきたいポイント・本人への具体的な関わり方などをわかりやすく解説します。
発達性協調運動障害 (DCD)	岩永 裕人 作業療法士 京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 特定助教	発達性協調運動障害 (DCD) とはどのような状態なのか、どのように評価や診断が行われるのかを解説します。さらに、日常生活の具体的な場面を取り上げながら、実際に行われている支援の方法を事例とともに紹介します。
子どもとの接点の見つけ方	草野 祐介 作業療法士 京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 助教	この講義では、子どもとの「接点」を“感覚”というキーワードを通してわかりやすく説明します。・子どもがどのように世界を感じているか・関わりをスムーズにするための手がかりを紹介し「関わりの引き出し」を増やす内容です。
病院や支援機関の利用の仕方	山田 晶子 児童精神科医 京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 特定助教	子どもの発達や特性について相談したい時、どのような機関を利用できるのかを整理します。この講座では、・相談先の種類と役割・利用するときのポイント・相談をより効果的にするための準備など、押さえておくべき基本情報をわかりやすくまとめています。